

PTA大会に参加して

全国高等学校PTA連合会大会福井大会

平成26年度 天草地区公立高等学校PTA指導者研究大会



●富崎会長、前田校長とサンドーム福井 大きな看板の前にて



育友会総務委員長 松田 洋典



育友会会長 富崎ますみ

8月22日に富崎会長、前田校長と三人で福井大会に参加しました。会場のサンドーム福井には、全国から多くの会員の方が参加され、熱気に満ちていました。開会式では、富崎会長が天高の全国表彰受賞のため表彰式に出席されました。基調講演では、脳科学者の茂木健一郎氏の講演があり、「考福とは何か、脳科学では見え始めた」と話されました。その内容は、「俳優のトム・クルーズや実業家のリチャード・ブランソンは失読症であるが、人の話をよく聞く能力が高い」「自分の個性を受け入れることが、考福への道になる」などです。大会に参加して、育友会の会員の方にも親子で考福とは何かを今一度見直していただきたいと思いた。きつと身近にその考福はあのような気がし



●本校育友会が表彰を受けました

員の方にも親子で考福とは何かを今一度見直していただきたいと思いた。きつと身近にその考福はあのような気がし

今年度は、11月9日、荅洋高校にて開催されました。天高からは、保護者や学校職員四十名が参加しました。始めに、TKUアナウンス部長の荒木恒竹氏による「アナウンサー人生で学んだ言葉の力とテレビ業界の四方山話」と題した講演会がありました。荒木氏が、アナウンサーになろうと思ったのは、野球選手をあきらめた高三の時だったそうです。実現したいことを口にし、努力する、だから叶えられたと言われていました。また、業界の四方山話を楽しく聞きながら、言葉の力についても勉強にもなりました。

午後の研究協議では、天草高校の育友会活動を「天高生の健全育成と育友会活動」というテーマで発表しました。育友会活動のねらいや内容を伝えるとともに、活動に対しての助言も頂きましたので、これからの取組に生かしていきたいと思いた。

生徒会との懇談会



育友会副会長 荒木 広之



●生徒会と育友会との懇談会の様子

7月26日(土)生徒会と育友会との懇談会を開催。参加者は育友会から会長、両副会長計3名、生徒会からは佐藤会長以下計8名、職員2名でした。生徒会では懇談会のため、事前に全校生徒にアンケートを行い要望事項をまとめてくれました。自己紹介の後、生徒会からの要望を聞きましたが、その内容は第二グラウンドにAEDの設置を、マイクロバスの購入、トレーニング室の整備、製氷機の増設、マラソン大会での時計の設置や飲み物の件等でした。育友会で対応できるものと、学校や県にお願しなければならぬ事がありました。生徒達が望んでいる事を知ることができました。

懇談会の中では、携帯電話の使用時間や使い方等生徒側の意見も聞く事ができました。悲しい出来事も発生してより、まきこみ、まきこまれが無いよう更に認識を深くして欲しいと思いた。また、育友会との交流の機会を持ちたいという事でしたので、「何ができるか検討する」と答えております。良いアイデアがありましたらご教示下さい。次回は12月開催の予定。第二グラウンドへのAEDの設置の要望について、先に行われた天草地区高P連の研修会で、会長が発表の中で紹介したところ、県高P連としてお手伝いできないか検討していますとの事でした。こんな形で繋がります、生徒達の要望が実現できれば幸いです。

寮

題字：2年3組 橋本 美海

女子寮(桜華寮) 新しくなりました!



天高の寮が男女とも新しくなりました。場所は共に明徳寺下(馬場区)にあります。現在の入寮生に新寮での生活について、また、寮生OBの方に旧男子寮での思い出を語っていただきました。



●3月に開寮した桜華寮



●落成式でのテープカット



女子寮 寮長 2年6組 竹本 聖菜

桜華寮に移り約9ヶ月が経ちました。これまでの2つの寮が合併し二つになり人数も増え、施設は新しく過ごしやすい環境になりました。今月はクリスマス会というイベントもあり、二、三年生共にそわそわしながら準備に取り掛かっています。イベント自体も楽しみですが、それまでの準備の過程もまた、お互いを知る良い機会になると思いた。また、自習時間にはイベントとは切り替えて集中して学習に勤しんでいます。この新しい寮での生活も周りの方々の支えがあるからだと感謝し、施設を大切に使い、けじめのある生活を送っていきたく思いた。



●桜華寮の様子

寮で過ごした日々を忘れず、新しい伝統を築きながら、残り少ない高校生活を充実させていきたいと思いた。

天高近く(中山口区)の男子寮は旧女子寮を改装し11月に開寮



男子寮 3年4組 船津 武士

啓明寮に入る時、最初は多くの不安を抱えていましたが、共に過ごす先輩や後輩、そして同級生の仲間たちのお陰で充実した日々を過ごすことができました。古い建物でしたがとても愛着を感じていて、引越した時は正直、離れたくないと思いた。新しい寮はともきれいで、これまでに専念できています。啓明寮で過ごした日々を忘れず、新しい伝統を築きながら、残り少ない高校生活を充実させていきたいと思いた。



●啓明寮の様子

思い出



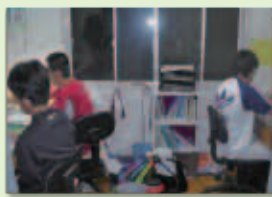
昭和55年度 卒業生 池田 幸生

寮生活では、先輩達から日々の挨拶と気配りを厳しく教えていただいたおかげ

編集後記

育友会は生徒会とのあいさつ運動に参加しています。『あいさつ』といえば、以前から第2グラウンド横を通る時、野球部などの天高生からの『元気なあいさつ』に感心していました。11月初旬のこと、土曜の朝に同グラウンド横をジョギングしていると、数日前に天草工業高校との県大会頂上決戦を制した男子ソフトボール部の練習中でした。思わず『おはようございます。県大会優勝おめでとう!』と声をかけると、『ありがとうございます!』と力強い返答が。その日は朝から元気をもらえました。『こちらこそありがとう!』

文化広報委員長 安田正則



●旧男子寮の部屋の様子



●手前が風呂と食堂棟、奥が寮棟(旧男子寮)